



活動経過及び予定

- 9月18日 理事会・常任委員会
- 10月 4日 教職員課、総務福利課へマニュアル等の点検依頼 理事会
- 11月 1日 点検結果受領
- 11月15日 理事会
- 12月 6日 理事会・評議員会
- 1月10日 常任委員会

学校事務を想う

県事協 会長 迫田弘昭

9月10日、いつものように朝早く届く南日本新聞を開く。「教職員3人懲戒処分 書類改ざんや事務遅れ」の文字、「ゲッ」と絶句。十数年前にも詐欺行為や現金の横領など不祥事が続き新聞報道があった。そんな反省から県下の事務職員が一つにまとまり地区事務職員会を中心に横の連携を図り、県下レベルで情報の共有を図りながら事務職員制度を自分たちで守ってこうと県事協が発足した。発足以降、個人の資質での問題はあったが業務に関わっての処分はなかったと記憶している。今回、なぜこのような問題となったのだろうか。近隣のサポートが無かったのか。誰かに相談することはできなかったか。

僕が採用になった80年代前半は全てが手作業の時代でマニュアルも無く分からないことは自分で調べる時代だった。また、経験から得た知識を先輩が後輩に伝える時代だった。今はどうだろう。横のつながりがあるのか。旅費も根拠法令など考える必要もなく起点を入れれば結果がでる。余り考える仕事が無くなったように感じる。仕事の事で近隣の学校と話すことがあるのだろうか。語らいの中から新しい視点も見えたり発見もある。人どうしの交わりもそういうところから発展するものだ。そいて相談もしやすい。

来年4月からは県下全地区で共同実施が始まるだろう。これまで市町村単位の大きな事務職員集団から支援組織という小さな集団に変わる。人前では話にくい方もいるだろう。小さな集団で本音を何でも語れる支援組織になればいいと願う。県事協は今年も認定等マニュアルの改訂作業を進めている。残念ながら県下全事務職員にこのマニュアルは届いてはいないが、認定事務で間違いがないようにと委員の方々は夏休みに集中的に作業を進めてもらった。

何度目の正直か分からないが、改めて、今後業務に関わって処分のでないよう支援室、市町村、地区、県レベルの学校事務職員集団で確認できればと思う。県事協も何ができるか考えてみたい。



第8次県費事務改善検討委員会

－中間報告－

県費事務改善検討委員会は、継続して「諸手当認定・電算マニュアル」「県小・中学校の実務手引書」「各福利厚生団体の記入例」などの整備・点検を行う事業です。マニュアル・実務手引書については、加除式の追録を作成しています。公立学校共済組合の記入例についても紙媒体での加除式化に取り組んでいます。夏季休業中に集中して県費事務改善検討委員会で各地区から集まった認定事例やマニュアルの修正及び疑問点を整理し、教職員課・総務福利課に点検依頼をしました。11月にその点検結果を受領し修正しました。また、10月に県教委よりマニュアルが新たにいただきましたが、そのマニュアルとの整合性もとっています。現在、その編集作業もほとんど終わり印刷サービスに向けてデータをまとめているところです。最終の校正を1月初めの常任委員会で行い各学校へは3月初旬に届く予定です。今のところマニュアル・実務手引書については170ページ程度の追録を予定しています。共済組合の記入例も100ページ程度になります。

各地区の事務職員会等の紹介

おじゃり申せ！！種子島へ

中種子町の現状

南界小学校 山平和幸

単身赴任して2年目になります。私生活では孤独な生活をしてますが、町内に事務職員という同じ仲間がいるんだと思いながら毎日出勤しています。また学校で子どもたちの笑顔を見ると、元気が出ます。

さて、中種子町の学校事務支援室は3年目になります。当然私は経過に携わってないので申し訳ないが、現状のみ報告します。中種子町事務職員会は小学校7校中学校1校事務職員7名で構成されています（兼務校1校）。拠点校（中種子中学校）に設置してある支援室を中心に支援室業務として月2回程度業務を行っています。

支援室内での役割分担は室長、補佐、総務、研修、管理、書記、渉外と事務職員全員で業務を分担しています。

現在行っている業務としては、主として諸手当の認定事務の相互確認、町費や県費に関する研究、支援室だよりの発行等その時期にタイムリーな業務を行っています。

年の後半部分は各学校を会場にして諸帳簿等の相互点検や施設設備の安全点検等を行っています。

（以下独り言）教員が忙しくなって、子どもたちと向き合う時間が無い？だから事務職員が一部の業務を分担する？どうして忙しくなったのか？それが問題だ。原因は事務職員のせいではない。教員の業務の一部を事務職員が負担して、教員が子どもと向き合う時間が増えるか疑問だ。しかしながら、世の中が変化していく中で、事務職員はどう変化していくか？このままでは生き残れない。みんなで考よう。



長浜海岸
ウミガメが産卵で有名
（中種子町ホームページより）

第3回評議員会開催

12月6日（金）に教職員互助組合会館にて今年度第3回の評議員会を開催しました。新聞報道もされた事務職員の不祥事を受けて、今後このようなことがおきないように県事協の横のつながりを大切にしていきたいとの会長あいさつが最初にありました。その後、次年度の事業計画、事業経費、地区負担金、会費、規約改正についての提案並びに県費事務改善検討委員会の経過報告をいたしました。事業計画の中で次年度学校事務現状報告会についての報告は、大島地区、鹿児島地区、南薩地区からになるということでの確認もいたしました。今回提案したことについて今後地区での検討になると思います。それを受けて次回評議員会で方針を決定いたします。各地区での御検討よろしくをお願いいたします。



（評議員会の様子）



編集後記

今年度は、学校納金（給食費・学年費）と就学援助費を担当しています。納金が遅れがちな家庭から納金についての相談がありました。私からそんなに厳しければ就学援助費を申し込んでみたらいかがですかと持ちかけたところ「あとで返済するのが大変なので…」と言われ、制度の内容が伝わっていないことにショックを受けました。その後、説明し就学援助を受けることができました。人に伝える難しさを感じました。そのような意味でも広報は大事な仕事だと思いました。事務だよりの果たす役目は大きいと思います。いろいろな事務だよりの紹介がいろいろあります。次号から各地区の事務だよりにについても紹介できればと思います。みなさんよろしくをお願いいたします。